ボーリング柱状図

事業 工事名

ボーリングNo.

東京都町田市本町田地内 緯 ボーリング名 NO.2(NO.23+18, R=6m)調查位置 調査期間平成11年12月10日~11年12月13日東 経 発注機関 東京都町田市役所 調査業者名 主任技師 ハンマー 北。成 地響配 方 D 0 - C 試錐機 トンビ 孔口標高 水平 🐧 上 落下用具 +97.96m 27億 鉛 エンジン N F D - 1 0 K ポンプ V - 6 総掘進長 27.44m 度 向 180 南 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 標 層 深 柱 土 深 10cmごとの 試験名 深試採 進 対対 質 値 N および結果 打擊回数 (m) 料取 高 厚 度 状 _ o _ 度 度 度 0 1020 月 区 密稠 測定月日 方 番 ? (m) 号法 (m) 10 20 30 日 調度度 図 分 (m) (m) (m) (m) (cm) 表 土 黒視 黒ボク状を呈す。草根を混入 30 1.15 3 3 3 3 3 2.15 全体にスコリア、浮石、炭化物を混 30 9 44 入する。 暗 2.45 1 mおよび2m付近、やや含水少な 3.15 茶 ф 褐 2m付近、スコリア混入量多い。 2 12 3m付近、やや含水多い。 4.15 30 の 2 2 5.15 30 6 5.45 92.06 5.80 11 30 11 4 6.15 6.45 硬 3 4 含水やや少ない。 7.15 11 30 11 浮石、スコリア、炭化物少量混入。 7.45 9m付近から混入物少なくなる。ま 8.00 8 た、若干、固結した部分が見られる 02-1 ム 5 6 14 8.85 30 14 3.70 -10 2 3 10.15 10m付近、φ2mm位の軽石点在 30 8 暗 10.45 茶 11m付近、浮石の混入量やや多い 3 3 11.15 2 の 30 Д 11.45 85.96 -12 35 2.6 12m付近から、含水多くなり粘土 暗 化している。 茶 -13 13m付近、浮石、スコリア混入。 13,15 か 37 1.6 特に含水多くなる。 63 84.26 粘着性極めて強い。 局部的い乳黄灰色を呈する所がある 凝灰質 14.15 0.80 14.45 6 6 16 15 30 16 15.45 8 10 25 30 25 자료 Selection of contraction of cont -16 15m付近、局部的に粘土多く混じ 中 粘 16.45 る。また、粘土を塊状に混じる所も 9 9 26 -17 土 位 17.15 暗 30 26 16m付近から18m付近間は、粘 質 Ø 土全体に混入する。 18.15 11 14 15 -18 微 40 19mおよび20m間は粘土の含有 30 40 細 密 量多く、局部的には砂質粘土状を呈 5 6 17 -19 な 19.15 もある。 30 19.45 7 18 30 18 6 20.15 -20 20.45 21.00 44 30 44 租砂主体で粒子租く、全体に粘土多 量混じる。 11 17 16 21 21.15 21.50 野黄 密な 76.46 0.50 21.45 非常に密な 黄 12 52 12 130 40 -22 22m付近、やや粒径粗く中砂混じ 現場透水試験 褐 22.27 砂 22.50 灰 24 75.06 1.40 50 15 100 23 23.30 22 -24 24.15 非 14107.1 全体に粒子細かいが、やや不均一で 24.29 常 ある。中砂を全体に混じる。 22 5 50 15 100 細 25.15 25 26m付近から粒径均一となり細砂 i: 砂 25.30 主体である。 灰 密 25 27m付近、やや粘土分多い。 26.15 26 な 18 83.3 26.33 2 50 29 51.7 27.15 15 17 18 g 27 70,52 27.44